



## 修了予定の皆さんへのアンケートのお願い【博士後期課程用】

東京工業大学では、このたび修了予定の皆さんを対象にアンケートを実施することといたしました。このアンケートを通じて、皆様の後輩のためによりよい教育施策・環境を検討・構築し、提供していくことを目的としていますので、ご協力をお願いいたします。

各質問項目の回答は任意です。回答したくない質問は未記入で構いません。なお、所属・進路等を分析することを計画しているため、学籍番号も任意で記入してください。個人を特定する意図ではございませんので、ご協力をお願いします。また、個人が特定できないよう統計的に処理しますので、皆さんの個人情報が公表されることはありません。調査結果は、**2020年9月頃に本学「教育・国際連携本部」のWEBサイト**（URL：<http://www.eduplan.titech.ac.jp/w/>）で**公表予定**です。

- 深く考えすぎず直感的にお答えください。
- 回答にかかる時間は10分間程度です。
- ご回答いただいたアンケート用紙は【2月28日まで】に右枠へご返送ください。

【返送・お問合せ先】

東京工業大学

学務部教務課教育企画 GP

(学内便 W8-101 / 内線 7602)

F1. 学籍番号をご記入ください

--	--	--	--	--	--	--	--

F2. 日本人学生・留学生で当てはまる方に○をつけてください

1.日本人学生 2.留学生

F3-1. 平成28年度以降入学の方…

系…

コース…

下記の表から系・コースの番号を選び、ご記入ください。

系一覧		コース一覧		
01 数学系	11 応用化学系	01 数学コース	11 応用化学コース	21 エンジニアリングデザインコース
02 物理学系	12 数理・計算科学系	02 物理学コース	12 数理・計算科学コース	22 ライフエンジニアリングコース
03 化学系	13 情報工学系	03 化学コース	13 情報工学コース	23 原子核工学コース
04 地球惑星科学系	14 生命理工学系	04 地球惑星科学コース	14 生命理工学コース	24 知能情報コース
05 機械系	15 建築学系	05 機械コース	15 建築学コース	25 都市・環境学コース
06 システム制御系	16 土木・環境工学系	06 システム制御コース	16 土木工学コース	
07 電気電子系	17 融合理工学系	07 電気電子コース	17 地球環境共創コース	
08 情報通信系	18 社会・人間科学系	08 情報通信コース	18 社会・人間科学コース	
09 経営工学系	19 イノベーション科学系	09 経営工学コース	19 イノベーション科学コース	
10 材料系		10 材料コース	20 エネルギーコース	

F3-2. 平成27年度以前入学の方…下記の表から専攻の番号を選び、ご記入ください。

専攻…

専攻一覧				
01 数学専攻	11 機械物理工学専攻	21 原子核工学専攻	31 価値システム専攻	41 環境理工学創造専攻
02 化学専攻	12 機械制御システム専攻	22 生命情報専攻	32 経営工学専攻	42 メカノマイクロ工学専攻
03 地球惑星科学専攻	13 機械宇宙システム専攻	23 分子生命科学専攻	33 社会学専攻	43 物理情報システム専攻
04 基礎物理学専攻	14 電気電子工学専攻	24 生体分子機能工学専攻	34 人間環境システム専攻	44 物理電子システム創造専攻
05 物性物理学専攻	15 電子物理工学専攻	25 生体システム専攻	35 創造エネルギー専攻	45 イノベーション専攻
06 物質科学専攻	16 集積システム専攻	26 生物プロセス専攻	36 知能システム科学専攻	
07 材料工学専攻	17 通信情報工学専攻	27 数理・計算科学専攻	37 物質電子化学専攻	
08 有機・高分子物質専攻	18 土木工学専攻	28 計算工学専攻	38 材料物理科学専攻	
09 応用化学専攻	19 建築学専攻	29 情報環境学専攻	39 物質科学創造専攻	
10 化学工学専攻	20 国際開発工学専攻	30 人間行動システム専攻	40 化学環境学専攻	

以下の各質問について、どのくらい当てはまるか、最も近い数字に○をつけてください

### 問 1. 課程における目標について

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1) 現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた	4	3	2	1
2) 入学時点の、又は在学中に見つけた現在の課程における目標を、達成できた	4	3	2	1

### 問 2. 本学での学生生活における環境・教育について

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	利用・経験していない
1) 学習環境（主に施設・設備面）に満足している	4	3	2	1	
2) 就職指導（または就職に関する情報提供）に満足している	4	3	2	1	9
3) 大学事務局（学務部・図書館等）のサービスに満足している	4	3	2	1	9
4) 研究活動に満足している	4	3	2	1	
5) 研究環境（主に施設・設備面）に満足している	4	3	2	1	9
6) サークル活動等の課外活動に満足している	4	3	2	1	9
7) 国際経験（短期留学を含む）に満足している	4	3	2	1	9
8) 体育館、プール、グラウンド等の施設・設備面に満足している	4	3	2	1	9
9) 食堂、購買等の施設・設備面に満足している	4	3	2	1	9
10) 本学の講義の方法に対して満足している	4	3	2	1	
11) 本学の演習・実験の方法に対して満足している	4	3	2	1	
12) 論文・研究指導に満足している	4	3	2	1	

※具体的に環境の改善すべき点を記述いただける場合は問 8 の自由記述欄に記載ください。

### 問 3. 教育について ※平成 28 年度以降入学の方は★を付した質問項目には 9 以外を選択してください

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	履修していない
1) 自分の専門分野に関する授業科目の内容は十分に理解できた	4	3	2	1	
2) ★文系教養科目の授業の内容は十分に理解できた	4	3	2	1	9
3) ★キャリア科目の授業の内容は十分に理解できた	4	3	2	1	9
4) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目の内容は十分に理解できた	4	3	2	1	9
5) 自分の専門分野に関する授業科目に対して満足している	4	3	2	1	
6) ★文系教養科目の授業に対して満足している	4	3	2	1	9
7) ★キャリア科目の授業に対して満足している	4	3	2	1	9
8) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目に対して満足している	4	3	2	1	9

### 問 4. 英語による授業科目について

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	履修していない
1) 授業内容は十分に理解できた	4	3	2	1	9
2) 自分の英語のリスニング能力は十分だと感じた	4	3	2	1	9
3) 自分の英語のリーディング能力は十分だと感じた	4	3	2	1	9
4) 自分の英語のライティング能力は十分だと感じた	4	3	2	1	9
5) 自分の英語のスピーキング能力は十分だと感じた	4	3	2	1	9
6) 英語表記の教材は読んで十分に理解できた	4	3	2	1	9
7) 教員の英語能力は十分だと感じた	4	3	2	1	9
8) 周りの学生の英語は聞き取れた	4	3	2	1	9

## 問5. クォーター制及び学外活動に関して

	あて はまる	やや あて はまる	あまり あて はまらない	あて はまらない	経験して いない
1) クォーター制による週2回授業（講義）に満足している	4	3	2	1	9
2) クォーター制による週2回授業（演習・実験）に満足している	4	3	2	1	9
3) クォーター制によってサークル活動等の課外活動がしやすくなったと感じる	4	3	2	1	9
4) クォーター制によって学外活動がしやすくなったと感じる	4	3	2	1	9
5) 留学などの国際経験をしたことがある	1.はい			2.いいえ	
6) インターンシップなど外部機関での活動をしたことがある	1.はい			2.いいえ	
7) ボランティア活動をしたことがある	1.はい			2.いいえ	
8) その他、学外での活動をしたことがあれば簡潔に記載してください					

## 問6. 現在の課程に入学する前に比べて、できるようになったことについて

	あて はまる	やや あて はまる	あまり あて はまらない	あて はまらない	すでに できていた と感じる
1) 自身の専門分野の概要・研究手法等を用いて新しい知見を生み出すことができるようになった	4	3	2	1	8
2) 自身の研究を用いて専門分野をリードすることができるようになった	4	3	2	1	8
3) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	4	3	2	1	8
4) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	4	3	2	1	8
5) 新しいことに対して目的をもって何度も挑戦し続けることができるようになった	4	3	2	1	8
6) 新たな知・価値のために自発的に学び考え、行動に移すことができるようになった	4	3	2	1	8
7) 社会に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった	4	3	2	1	8
8) 複数のメンバーの議論において理解及び尊重を促し、すり合わせるできるようになった	4	3	2	1	8
9) 複数の視点で事象を整理することができるようになった	4	3	2	1	8
10) 論理的な思考で分析できるようになった	4	3	2	1	8
11) 科学技術の深奥を目指し、本質や普遍性を見出す姿勢が身についた	4	3	2	1	8
12) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	4	3	2	1	8
13) 自らの知識や技能を活用して高度な問題を解決できるようになった	4	3	2	1	8
14) 学術誌に論文を投稿する、学会での発表を行うなど、新たな知見を発信できるようになった	4	3	2	1	8
15) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	4	3	2	1	8
16) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	4	3	2	1	8
17) 外国語によるコミュニケーションをとることができるようになった	4	3	2	1	8



教養教育について、お尋ねします。

問 7. 博士教養科目（「教養先端科目」、「学生プロデュース科目」）を履修したことは、  
今のあなたにとってどのように役立っていると思いますか。

	あて はまる	やや あて はまる	あまり あて はまらない	あて はまらない	履修して いない
1) 自身の専門分野の概要・研究手法等を用いて新しい知見を生み出すことができるようになった	4	3	2	1	9
2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	4	3	2	1	9
3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	4	3	2	1	9
4) 新しいことに対して目的をもって何度も挑戦し続けることができるようになった	4	3	2	1	9
5) 新たな知・価値のために自発的に学び考え、行動に移すことができるようになった	4	3	2	1	9
6) 社会に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった	4	3	2	1	9
7) 複数のメンバーの議論において理解及び尊重を促し、すり合わせるできるようになった	4	3	2	1	9
8) 複数の視点で事象を整理することができるようになった	4	3	2	1	9
9) 論理的な思考で分析できるようになった	4	3	2	1	9
10) 科学技術の深奥を目指し、本質や普遍性を見出す姿勢が身についた	4	3	2	1	9
11) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	4	3	2	1	9
12) 自らの知識や技能を活用して高度な問題を解決できるようになった	4	3	2	1	9
13) 学術誌に論文を投稿する、学会での発表を行うなど、新たな知見を発信できるようになった	4	3	2	1	9
14) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	4	3	2	1	9
15) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	4	3	2	1	9

問 8. 最後に、本学の教育に対する良かった点、改善の提案がありましたら記述してください（自由記述）

1) 良かった点	
2) 改善の提案	

枠内に書ききれない場合は kyo.kyo@jim.titech.ac.jp 宛てにメールで記載し、お送りください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。